



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 東京急行電鉄株式会社

コード番号 9005 URL <http://www.tokyu.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 野本 弘文

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略室 主計部 主計課長

(氏名) 小田 克

TEL 03-3477-6168

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|--------|------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 269,939 | 5.2 | 22,889 | 12.3 | 22,730 | 15.8 | 18,629 | 11.7 |
| 28年3月期第1四半期 | 256,621 | △1.0 | 20,388 | △1.7 | 19,631 | 1.3 | 16,674 | 35.8 |

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 14,731百万円 (△24.5%) 28年3月期第1四半期 19,506百万円 (47.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 15.19 | — |
| 28年3月期第1四半期 | 13.42 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-----------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 2,091,890 | 634,321 | 28.1 |
| 28年3月期 | 2,092,546 | 623,297 | 27.6 |

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 586,959百万円 28年3月期 576,873百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 4.00 | — | 4.50 | 8.50 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | 4.50 | — | 4.50 | 9.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-----------|-----|--------|-------|--------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 553,500 | 3.8 | 37,000 | △18.4 | 34,100 | △18.1 | 25,600 | △31.8 | 20.87 |
| 通期 | 1,139,200 | 4.4 | 77,000 | 2.0 | 73,300 | 4.7 | 61,000 | 10.4 | 49.72 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-----------------|----------|-----------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年3月期1Q | 1,249,739,752 株 | 28年3月期 | 1,249,739,752 株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期1Q | 22,924,061 株 | 28年3月期 | 23,113,371 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 29年3月期1Q | 1,226,719,239 株 | 28年3月期1Q | 1,242,858,186 株 |

(注) 自己株式に含めている従業員持株会信託口が保有する当社株式数は以下のとおりであります。
29年3月期第1四半期 : 5,483,000株 28年3月期 : 5,691,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

「2017年3月期 第1四半期 決算概況資料」は、本日(平成28年8月9日)、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで開示しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (2) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社（連結子会社を含む）は、将来の大きな飛躍に向け、財務健全性を確保しつつ、既存事業・プロジェクトの強化、当社の強みを生かすことのできる新規領域への積極的進出や成長領域への重点投資を実施し、収益性、効率性双方の向上の実現を目指した、中期3か年経営計画「STEP TO THE NEXT STAGE」を推進しております。

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、当社の不動産賃貸業が堅調に推移したことや、関東急レクリエーションを前連結会計年度末に連結子会社化したことによる増加などにより、2,699億3千9百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は、228億8千9百万円（同12.3%増）となりました。経常利益は、持分法による投資利益が増加したことなどにより、227億3千万円（同15.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、186億2千9百万円（同11.7%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであり、各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含んで記載しております。なお、各セグメントの営業利益をセグメント利益としております。

① 交通事業

交通事業では、当社の鉄軌道業において、当第1四半期連結累計期間における輸送人員は、二子玉川ライズ2期の開業効果などにより、定期で1.4%増加、定期外で0.2%増加し、全体でも0.9%の増加となりました。

この結果、営業収益は、501億9千3百万円（同2.6%増）となったものの、当社の鉄軌道業において、費用が増加したことなどにより、営業利益は、90億1千9百万円（同6.5%減）となりました。

(当社の鉄軌道業の営業成績)

| 種別 | | 単位 | 前第1四半期連結累計期間 | 当第1四半期連結累計期間 |
|------------|-----|-----|--------------------|--------------------|
| | | | 27. 4. 1～27. 6. 30 | 28. 4. 1～28. 6. 30 |
| 営業日数 | | 日 | 91 | 91 |
| 営業キロ程 | | キロ | 104.9 | 104.9 |
| 客車走行キロ | | 千キロ | 36,779 | 37,002 |
| 輸送人員 | 定期外 | 千人 | 116,238 | 116,458 |
| | 定期 | 千人 | 177,935 | 180,500 |
| | 計 | 千人 | 294,173 | 296,958 |
| 旅客運輸収入 | 定期外 | 百万円 | 19,041 | 19,047 |
| | 定期 | 百万円 | 15,786 | 16,016 |
| | 計 | 百万円 | 34,827 | 35,063 |
| 運輸雑収 | | 百万円 | 3,294 | 3,378 |
| 収入合計 | | 百万円 | 38,121 | 38,441 |
| 一日平均旅客運輸収入 | | 百万円 | 383 | 385 |
| 乗車効率 | | % | 53.0 | 53.0 |

(注) 乗車効率の算出方法
$$\text{乗車効率} = \frac{\text{輸送人員}}{\text{客車走行キロ}} \times \frac{\text{平均乗車キロ}}{\text{平均定員}} \times 100$$

② 不動産事業

不動産事業では、当社の不動産賃貸業において、「二子玉川ライズ」などの賃貸収入が堅調に推移したことなどにより、営業収益は、423億5千3百万円（同5.5%増）、営業利益は、85億4千6百万円（同50.7%増）となりました。

③ 生活サービス事業

生活サービス事業では、チェーンストア業の㈱東急ストアにおいて、既存店売上が好調に推移したことや、映像事業の㈱東急レクリエーションの連結子会社化による増加などにより、営業収益は、1,645億5千8百万円(同5.6%増)となりましたが、㈱東急ストアにおいて、費用が増加したことなどにより、営業利益は、33億3百万円(同8.9%減)となりました。

④ ホテル・リゾート事業

ホテル・リゾート事業では、ホテル業の㈱東急ホテルズにおいて、高稼働を維持したことに加え、販売単価も増加したことなどにより、営業収益は、261億5千1百万円(同4.6%増)、営業利益は、20億2千3百万円(同39.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、当社の有形固定資産の増加などがあつたものの、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、2兆918億9千万円(前期末比6億5千5百万円減)となりました。

(負債)

負債は、有利子負債(※)が、9,628億9千6百万円(同254億2千9百万円増)となつたものの、設備投資に関わる未払金が減少したことなどにより、1兆4,575億6千9百万円(同116億7千9百万円減)となりました。

(純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、6,343億2千1百万円(同110億2千3百万円増)となりました。

※ 有利子負債：借入金、社債、コマーシャル・ペーパーの合計

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、100%子会社である横浜金沢プロパティーズ㈱の吸収合併等の変動要素を反映し、前回発表時の予想(平成28年5月13日公表)から、親会社株主に帰属する当期純利益を610億円(前回予想比13.0%増)に変更しております。なお、通期の営業収益、営業利益、経常利益及び第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、前回発表時の予想を変更しておりません。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 39,614 | 47,625 |
| 受取手形及び売掛金 | 133,442 | 125,905 |
| 商品及び製品 | 15,393 | 16,799 |
| 分譲土地建物 | 31,937 | 31,629 |
| 仕掛品 | 5,821 | 6,782 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,921 | 6,078 |
| 繰延税金資産 | 7,233 | 5,075 |
| その他 | 37,921 | 33,068 |
| 貸倒引当金 | △812 | △803 |
| 流動資産合計 | 276,472 | 272,163 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 723,130 | 715,818 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 57,782 | 55,598 |
| 土地 | 653,977 | 661,977 |
| 建設仮勘定 | 113,806 | 119,318 |
| その他(純額) | 24,725 | 25,093 |
| 有形固定資産合計 | 1,573,421 | 1,577,807 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資有価証券 | 132,223 | 130,088 |
| 退職給付に係る資産 | 5,245 | 5,258 |
| 繰延税金資産 | 9,626 | 11,369 |
| その他 | 66,396 | 63,935 |
| 貸倒引当金 | △511 | △560 |
| 投資その他の資産合計 | 212,981 | 210,090 |
| 固定資産合計 | 1,816,073 | 1,819,727 |
| 資産合計 | 2,092,546 | 2,091,890 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 94,824 | 85,916 |
| 短期借入金 | 319,531 | 324,357 |
| コマーシャル・ペーパー | — | 10,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | 17,000 |
| 未払法人税等 | 20,614 | 5,072 |
| 引当金 | 12,065 | 8,401 |
| 前受金 | 24,777 | 28,571 |
| その他 | 116,370 | 103,845 |
| 流動負債合計 | 608,183 | 583,164 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 196,228 | 209,228 |
| 長期借入金 | 401,707 | 402,311 |
| 引当金 | 2,841 | 2,827 |
| 退職給付に係る負債 | 40,506 | 40,961 |
| 長期預り保証金 | 118,556 | 117,727 |
| 繰延税金負債 | 28,055 | 27,192 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 9,176 | 9,176 |
| その他 | 41,402 | 43,018 |
| 固定負債合計 | 838,474 | 852,442 |
| 特別法上の準備金 | | |
| 特定都市鉄道整備準備金 | 22,590 | 21,962 |
| 負債合計 | 1,469,248 | 1,457,569 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 121,724 | 121,724 |
| 資本剰余金 | 131,666 | 131,669 |
| 利益剰余金 | 327,405 | 340,479 |
| 自己株式 | △19,088 | △18,931 |
| 株主資本合計 | 561,708 | 574,942 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,577 | 10,674 |
| 繰延ヘッジ損益 | 43 | 18 |
| 土地再評価差額金 | 8,338 | 8,338 |
| 為替換算調整勘定 | 6,835 | 4,701 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △12,630 | △11,716 |
| その他の包括利益累計額合計 | 15,164 | 12,016 |
| 非支配株主持分 | 46,424 | 47,362 |
| 純資産合計 | 623,297 | 634,321 |
| 負債純資産合計 | 2,092,546 | 2,091,890 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 営業収益 | 256,621 | 269,939 |
| 営業費 | | |
| 運輸業等営業費及び売上原価 | 188,636 | 197,697 |
| 販売費及び一般管理費 | 47,596 | 49,352 |
| 営業費合計 | 236,233 | 247,049 |
| 営業利益 | 20,388 | 22,889 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 62 | 58 |
| 受取配当金 | 389 | 415 |
| 持分法による投資利益 | 1,271 | 1,456 |
| 保険配当金 | 700 | 755 |
| その他 | 551 | 1,016 |
| 営業外収益合計 | 2,975 | 3,702 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,785 | 2,587 |
| その他 | 947 | 1,274 |
| 営業外費用合計 | 3,733 | 3,861 |
| 経常利益 | 19,631 | 22,730 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 204 | 344 |
| 工事負担金等受入額 | 164 | 138 |
| 特定都市鉄道整備準備金取崩額 | 627 | 627 |
| 事業譲渡益 | 605 | — |
| その他 | 184 | 7 |
| 特別利益合計 | 1,786 | 1,116 |
| 特別損失 | | |
| 工事負担金等圧縮額 | 149 | 96 |
| 固定資産除却損 | 259 | 115 |
| その他 | 199 | 142 |
| 特別損失合計 | 608 | 354 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 20,808 | 23,492 |
| 法人税等 | 4,005 | 4,596 |
| 四半期純利益 | 16,803 | 18,895 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 128 | 266 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 16,674 | 18,629 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 16,803 | 18,895 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,497 | △1,703 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | △598 | △3,360 |
| 退職給付に係る調整額 | 803 | 871 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 1 | 28 |
| その他の包括利益合計 | 2,702 | △4,164 |
| 四半期包括利益 | 19,506 | 14,731 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 19,397 | 15,481 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 108 | △750 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|------------------------|----------|-----------|------------------|--------------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 交通 事業 | 不動産 事業 | 生活 サービス 事業 | ホテル・ リゾート 事業 | | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 48,454 | 30,673 | 152,621 | 24,872 | 256,621 | — | 256,621 |
| セグメント間の内部営業収益 又は振替高 | 451 | 9,485 | 3,176 | 128 | 13,242 | △13,242 | — |
| 計 | 48,906 | 40,159 | 155,797 | 25,001 | 269,864 | △13,242 | 256,621 |
| セグメント利益 | 9,648 | 5,671 | 3,627 | 1,447 | 20,395 | △7 | 20,388 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|------------------------|----------|-----------|------------------|--------------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 交通 事業 | 不動産 事業 | 生活 サービス 事業 | ホテル・ リゾート 事業 | | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 49,747 | 32,663 | 161,606 | 25,922 | 269,939 | — | 269,939 |
| セグメント間の内部営業収益 又は振替高 | 445 | 9,690 | 2,951 | 229 | 13,317 | △13,317 | — |
| 計 | 50,193 | 42,353 | 164,558 | 26,151 | 283,256 | △13,317 | 269,939 |
| セグメント利益 | 9,019 | 8,546 | 3,303 | 2,023 | 22,892 | △2 | 22,889 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したことに伴い、事業セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。

なお、当該變更に伴う当第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。